

市営地下鉄ブルーライン一時運転見合わせの原因について

平成22年9月2日、8時56分ごろ、市営地下鉄ブルーライン三ツ沢下町駅ホームにおいて、電車緊急停止装置が作動したため、ブルーライン全線で一時運転を見合わせましたが、運転再開に時間を要した原因が明らかになりましたので、報告します。

1 概要

- 8時56分 地下鉄三ツ沢下町駅上りホームの電車緊急停止装置（※）が作動しました。
- 9時00分 同停止装置を復帰することができなかったため、ブルーラインの全列車の発車を見合わせました。
- 9時27分 同停止装置の復帰作業を完了しました。
- 9時38分 安全運行を確認して、全線で運転を再開しました。

2 一時運転見合わせ及び運転再開に時間を要した原因

- (1) ホーム上のお客様(男性24歳)が、電車緊急停止ボタンを押したことにより、同停止装置が作動し、信号が停止信号となり、列車が停止しました。
- (2) 駅職員が上りホームに急行し、ホームの両端及び中央部の3箇所に設置してある電車緊急停止装置のうち、ホーム両端の装置については、数回復帰作業を試みたが、中央部の装置の確認を失念したため、電車緊急停止装置を復帰することができませんでした。
- (3) 現場に急行した信号通信係員が、作動した電車緊急停止装置を特定し復帰作業を行いました。
- (4) 駅職員が、緊急事態に動揺して、どの装置が作動しているか確認できなかったなど、冷静に対処することができず、復帰作業に手間取りました。

3 再発防止策

- (1) 緊急時に確実に対応できるよう、各職場において非常用設備や防災設備の操作方法等について、再確認させ徹底します。
- (2) 電車緊急停止ボタンにいたずら防止用のアクリルカバーを設置します。

<参考>

- ※ 列車緊急停止装置：お客様が線路内に転落した場合など、駅に進入する列車を緊急に停止させるための装置です。